

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	国際観光課	職	課長	氏名	北口 義一
評価者	組織		職		氏名	

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	海外誘客の促進	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (R7)	683,862 (H30)	(R1)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題					課題に対する主な取り組み					評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1 東京オリンピック・パラリンピック競技大会 とその後を見据えた本県の認知度の向上 及び誘客の促進	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (R7)	683,862 (H30)	(R1)	1: ほとと石川観光推進ファンド事業資金 貸付金	外国人観光客	7,300			
							2: 海外誘客情報発信事業費	外国人観光客	141,603			
	課題2 外国人受入環境の充実						外国人宿泊客数	人	1,000,000 (R7)	683,862 (H30)	(R1)	3: 海外誘客受地整備事業費

※人数については暦年の数値である

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名	主事 高 尚也	者 電話番号	076 - 225 - 1124 内線 3969

1 目 的
平成28年3月に策定した「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟がほっと石川観光推進ファンドを活用して実施する海外誘客促進事業の円滑な実施のため、資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

2 事業の概要
貸付先:(公社)石川県観光連盟
貸付額:7,300千円
※令和元年度は、(公社)石川県観光連盟への補助事業により、Webサイトの改修等を実施予定であり、補助金が例年に比べ増額となったことから、連動して事業実施に必要な貸付金が減額となった。

【参考】ほっと石川観光プラン推進ファンドを活用した事業内容
東京オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた海外誘客

(1)海外MICE誘致の推進
欧米等に応いネットワークを持つ東京都との連携による国際見本市への出展、相互の魅力を活かした視察旅行の受け入れ、海外共同共同プロモーションの実施 など

※MICE: Meeting(会議・研修)、Incentive(報奨旅行)、Conference(国際会議・学術会議)、Exhibition(展示会)の4つの頭文字を合わせた言葉

(2)海外富裕層誘客の促進
先進的に富裕層誘客に取り組む京都市など5自治体による連携組織へ参画しての、欧米旅行会社招へいや富裕層向け旅行見本市への出展、豪州における観光セミナーの開催 など

施策・課題の状況							
施策	海外誘客の促進					評価	
課題	東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度の向上及び誘客の促進						
指標	外国人宿泊者数					単位	人
目標値	現状値						
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	1,000,000	363,399	529,473	606,419	683,862		
事業費							
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算		30,000	20,500	22,000	7,300	
	決算		39,000	20,500	22,000		
一般財源	予算		0	0	0	0	
	決算		0	0			
事業費累計			39,000	59,500	81,500	88,800	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客情報発信事業費	事業開始年度	H2	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主事 高 尚也	
							電 話 番 号	076 - 225 - 1124 内線 3969

1 目 的
海外からの誘客で最も重要な認知度向上を図るため、海外における旅行イベントへの出展、メディアへの露出、現地旅行会社への商品造成支援や観光セミナーの開催など、各種観光プロモーション活動を実施する。北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートの定着を図る。

2 事業内容
(1) 北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートの普及
① 北陸アーチパスを活用した情報発信
・沿線自治体との連携による国際旅行博への出展やメディア招へい（欧米豪、東南アジア、香港）など
② 昇龍道フリーバスきっぷ等を活用した周遊観光の促進
・沿線各県との連携によるメディア招へい

(2) 国や地域の特徴に応じた戦略的な海外誘客の推進
① 個人旅行者に対する情報発信の強化
・世界最大手のインターネット動画サイトを活用した観光PR
② 小松空港定期便を活用した誘客活動の展開
・旅行商品造成のためのメディア招へい、広告掲載支援 など
③ 小松・香港定期便化を契機とした誘客推進(香港)
④ ターゲットを絞った誘客の促進
・アフタースキー客の誘客(豪州)
・教育旅行の誘致(台湾・中国)
・スポーツ・レジャーツアーの誘致(台湾、韓国、中国)
・東南アジアからの団体旅行誘客の促進 など
⑤ 東京オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた誘客促進
・観光セミナーや海外旅行会社の招へい、セールスコールなど

施策・課題の状況							
施策	海外誘客の促進					評価	
課題	東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度の向上及び誘客の促進						
指標	外国人宿泊者数					単位	人
目標値	現状値						
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	1,000,000	363,399	529,473	606,419	683,862		
事業費							
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
事業費	予算	98,670	79,040	82,400	92,515	141,603	
	決算	119,737	105,519	83,642	104,259		
一般財源	予算	14,840	74,940	55,650	63,665	103,203	
	決算	43,492	76,939	56,916	66,779		
事業費累計	306,757	412,276	495,918	600,177	741,780		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客受地整備事業費	事業開始年度	H2	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主事 高 尚也

1 目 的

外国人観光客が、快適な県内観光を楽しめるよう、観光事業者、有識者とも連携しながら、情報の収集・分析にあたり、県内事業者に対して受け入れに関する意識啓発並びに必要な支援の実施や、県内の観光素材の発掘・磨き上げ等を実施することにより、外国人旅行者の利便性及び満足度の向上を図る。

2 事業内容

<情報の収集・分析>

- ・外国人旅行者動態調査
- ・受入環境整備状況調査

<利便性の向上>

①観光事業者等への意識啓発

- ・インバウンド研究会等の開催
- ・飲食店・商業施設 等を対象とした出張セミナーの開催

②観光事業者等への支援

- ・外国人電話通訳サービスの実証事業

<観光素材の発掘・磨き上げ>

- ・旅行商品造成責任者による外国人旅行者向け本県観光素材への指導・助言、観光素材説明会の開催

<魅力発信>

- ・レンタカーを活用した広域周遊の促進のための、外国人向けドライブマップの制作（繁体字版）
- ・伝統文化の体験プログラム等を掲載したリーフレットの作成
- ・加賀・能登へのガイド付きモニターツアーの開催

施策・課題の状況						
施策	海外誘客の促進					評価
課題	外国人受入環境の充実					
指標	外国人宿泊者数				単位	人
目標値	現状値					
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	1,000,000	363,399	529,473	606,419	683,862	
事業費						
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算	9,000	2,170	5,000	4,450	15,660
	決算	21,844	1,888	4,418	7,383	
一般	予算	9,000	2,170	5,000	4,450	14,160
財源	決算	4,924	1,888	4,418	5,383	
事業費累計		35,754	37,642	42,060	49,443	65,103
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						